



かえつ有明中高等学校  
教育部 理科主任  
深谷 新

# 本日のアジェンダ

## 1 本校の概要

- ・サイエンス科・プロジェクト科  
(=総合的な探究の時間)

## 2 FOXプロジェクトについて

- ・概要説明
- ・本プロジェクトの大きな特色

## 3 取り組み報告

## 4 心がけているポイント

# 1. 本校の概要

## ～サイエンス科(中学)・プロジェクト科(高校)～

# かえつ有明中・高等学校 “3本の軸”

## 6年間で身につける知識と資質・能力

### 学び方を学ぶ

- 必要な知識・技能を獲得する
- 知識を活用する
- 論理的に考える
- 批判的に考える
- 創造的に考える
- 物事を俯瞰的に見る

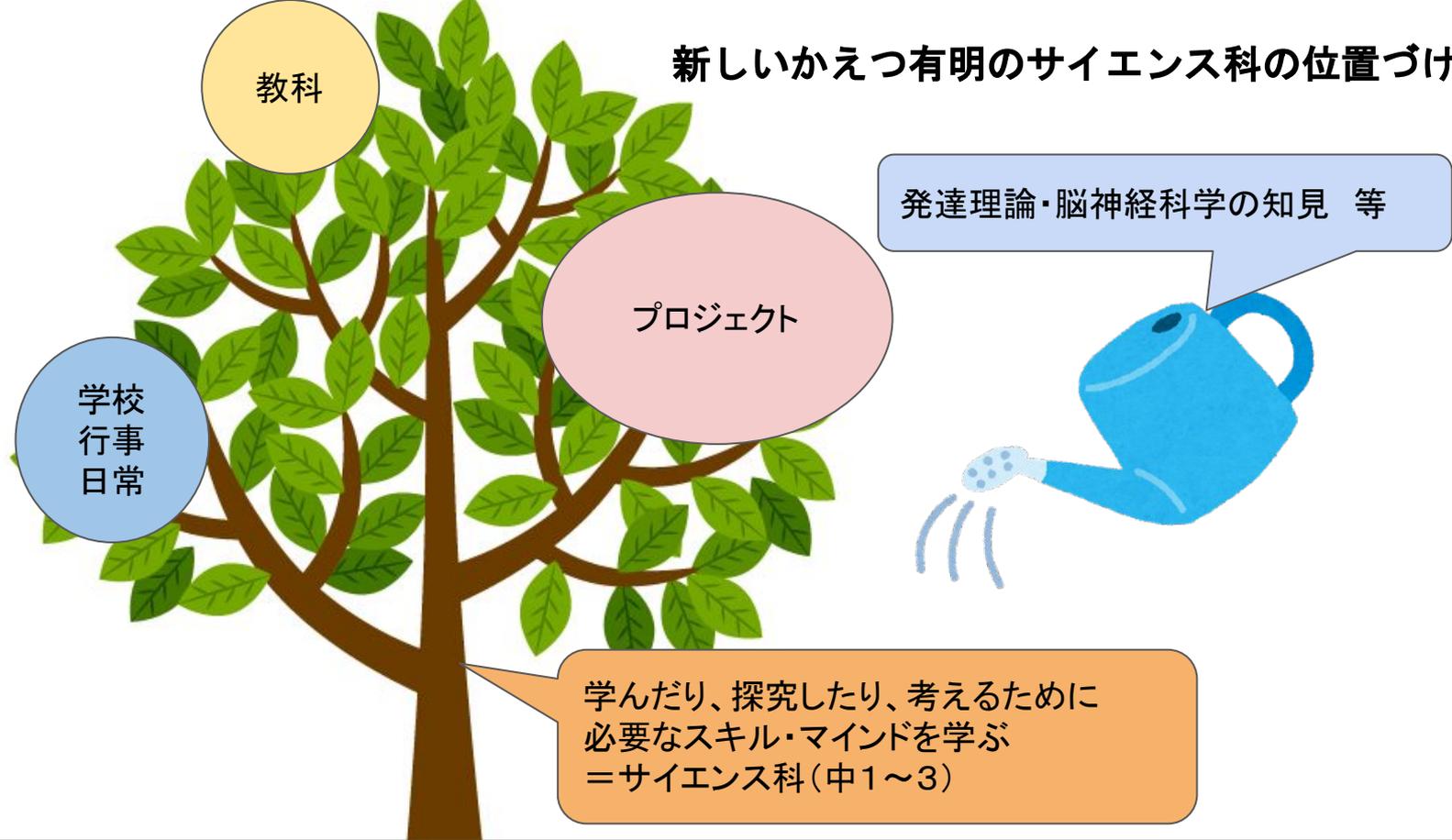
### 自分軸を確立する

- 好奇心を持って自分から学ぶ
- 自らの価値観を見つめる
- 自分の言葉で表現する
- 自分らしく生きることとはどういうことかに気づく

### 共に生きる

- 他者の声を聴く
- 多様性を受け入れる
- 他者と協働する
- 感謝の気持ちをもつ
- 社会に関わろうとする
- 互いの強みを生かす

# 新しいかえつ有明のサイエンス科の位置づけ



「考え、議論する道徳」に、Social Emotional (Ethical) Learning(社会性と情動の学習)の要素を取り入れた「かえつ有明の道徳」を基盤にする

## 自分を理解する力

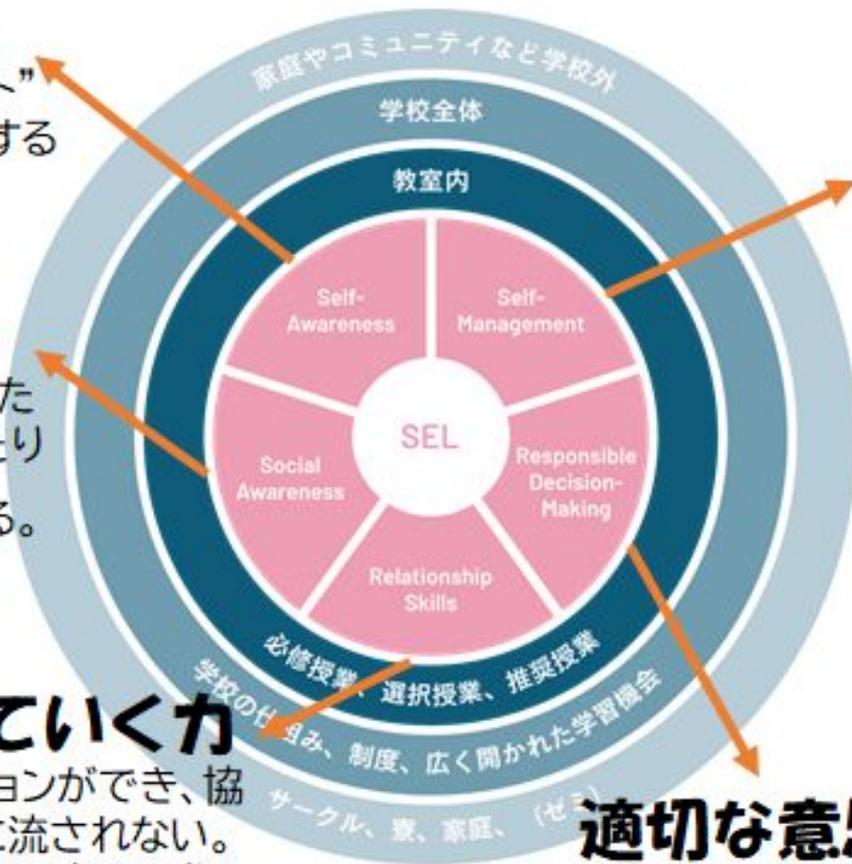
自信をもち“成長マインドセット”で、自分の強みや弱味を理解することができる

## 他者を理解する力

多様な背景や文化を有する人たちの視点を理解して、共感したり思いやったりすることができる。

## 他者とうまくやっていく力

他の人とうまくコミュニケーションができ、協力できる。不健全な場の空気に流されない。対立を建設的に解決する。他人に助けを求めたり、自分から他人を助けることができる。



## 自分で自分を統制する力

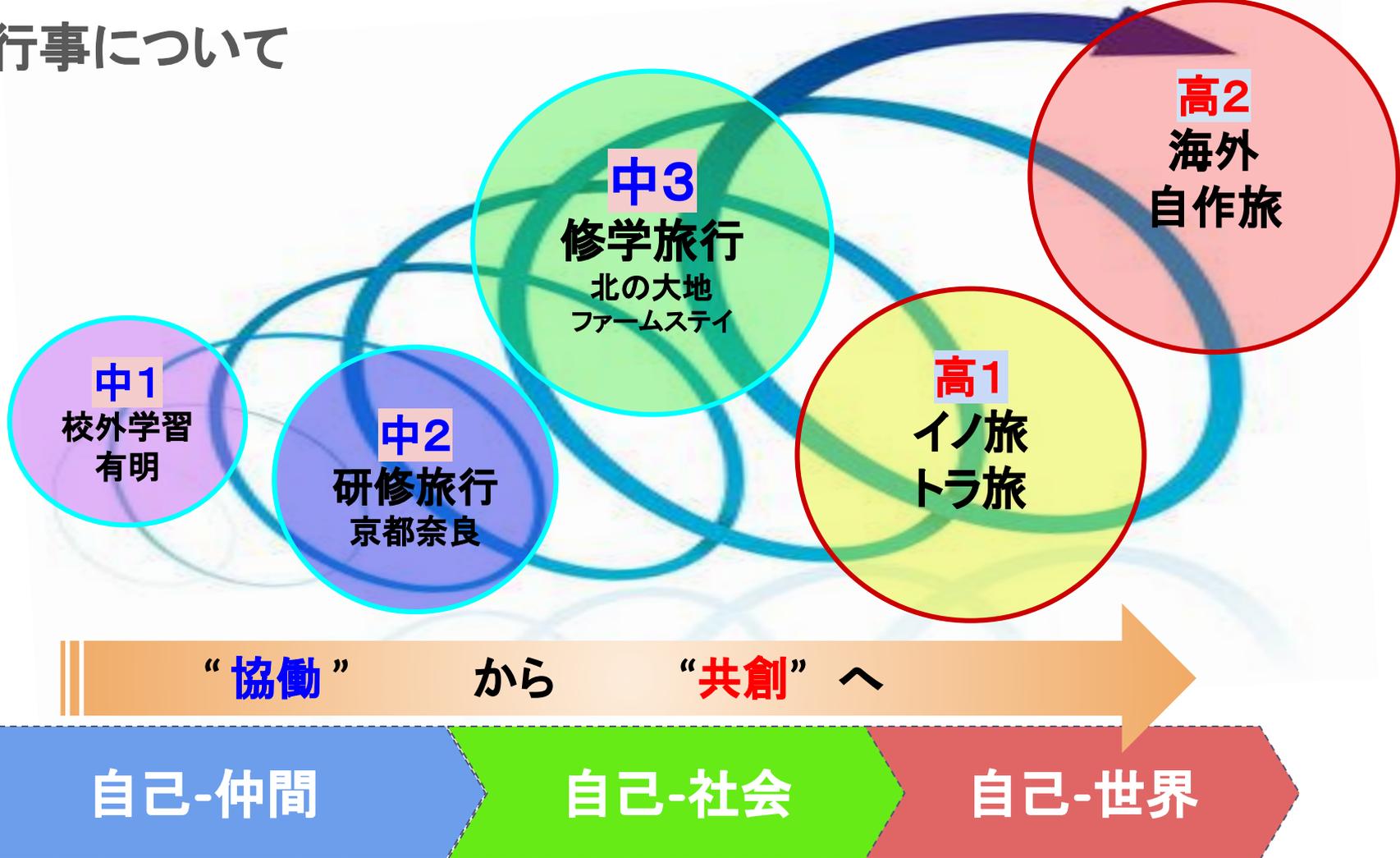
ストレスとうまくつきあって、自分の衝動を切にコントロールし、自分で目標を設定して到達していくために自分を動かすことができる。

## 適切な意思決定をする力

自分の行動や、他人とのやりとりの中で倫理的基準や安全性、社会的規範に基づいて、建設的な選択をすることができる。

	Who am I? 中1 自己を中心に	How do I relate with others? 中2 他者を中心に	What will I contribute in the real world? 中3以降 世界を中心に
1学期	チームビルディング・プロジェクトアドベンチャー・居心地の良い集団作り		
	自分の感情に気づく ペアインタビュー (中学校1年生では少人数で 取り組むようなワークを中心 にする) マインドフルネス 身体性のワーク 具体的な道德のトピックを扱う (小さいディスカッション⇒ スパイダーへ)	スパイダー討論 中学1年生よりは抽象度の高 い道德のトピックを扱う  週3時間のうち1時間が道德 (目安)	哲学対話 システム思考 (中学校3年生ではつなが りを意識するワークを中心 にする) 世界・自然等道德の中でも 抽象度が高いトピックを扱 う
2学期	マイストーリー、価値観ワーク、人生曲線 等ここまでの歩みを振り返る時間		
3学期	ここにいて安心安全 身体と心の健全な状態を意 識できるようになる	他者と関わることができる 繋がりや所属の感覚がある	自分はそのままで価値があ る存在⇒他者貢献・自己探 求へ

# 宿泊行事について



## 2. FOXプロジェクトについて ～概要説明～

# かえつFOXプロジェクト 2023



# かえつ有明中・高等学校 “3本の軸”

## 6年間で身につける知識と資質・能力

### 学び方を学ぶ

- 必要な知識・技能を獲得する
- 知識を活用する
- 論理的に考える
- 批判的に考える
- 創造的に考える
- 物事を俯瞰的に見る

### 自分軸を確立する

- 好奇心を持って自分から学ぶ
- 自らの価値観を見つめる
- 自分の言葉で表現する
- 自分らしく生きることとはどういうことかに気づく

### 共に生きる

- 他者の声を聴く
- 多様性を受け入れる
- 他者と協働する
- 感謝の気持ちをもつ
- 社会に関わろうとする
- 互いの強みを生かす

## ダイバーシティ

グローバル社会で生きていくための力として、主体性やコミュニケーション能力が挙げられます。

なぜ主体性が必要なのでしょう？それは多彩なバックボーンを持った人々の中で、流されることなく、自分の意志を持って生きるためです。なぜコミュニケーション能力が必要なのでしょう？それは多様な価値観を理解し、受け入れ、思いやりを持って、さまざまな人と協働するためです。かえつ有明で過ごす学校生活は、ダイバーシティ＝多様性のある社会に飛び立つためのマインドセットをする時間です。



# 障害者条約で日本に初審査 国連、政策改善へ期待

2022/08/22 23:36



【ジュネーブ共同】日本が締結している障害者権利条約を巡り、国連がスイス・ジュネーブで22日、日本の政策に対する審査を始めた。国連の障害者権利委員会と政府の担当者が対面で質疑応答。日本が2014年に同条約を締結してから審査は初めてで、精神科病院の強制入院や身体拘束、障害児教育などが主な論点になるとみられる。



日本政府への審査が始まった国連欧州本部の会場＝22日、スイス・ジュネーブ（共同）

（共同通信）

審査は23日まで2日間行われ、権利委は9月中旬までに改善点を勧告する見通し。勧告に拘束力はないものの、尊重することが求められる。障害者の間では課題の改善につながるよう期待が高まっている。

国連による審査は、同条約の締約国に定められた手続き。

# Fox Projectとは

・一般社団法人「こたえのない学校」が掲げた、

「すべての子どもが子どもたちの中で育つ世界を」

というゴールを実現しようとするプロジェクト

・『星の王子様』のキツネのエピソード

(言葉は通じなくても、ただ毎日同じ場所

にいてることで友達になる) が由来

(<https://www.foxpj.org/>)

⇒このプロジェクトのゴールに共感して、

2022年度から教科横断の授業づくりが始まる



世界で  
たったひとりの  
ともだちに  
なろう

Fox Project



# かえつ Fox Project

【中心的な問い】

「すべての人と共に生きる世界をつくるには？」

【生徒のGOALイメージ】

- ・ かたちあるもので最終発表の場では表現を
- ・ (内面的に) 「マイノリティ」「共に生きる」  
という概念に対する意識変容

# かえつ Fox Project 進め方

- ① 9月：高1「社会総合」、高2「公共」で  
「マイノリティ」について触れる
- ② 10月：自分の興味関心が高いテーマを選択  
⇒ 同じテーマ・問いをもつ生徒と同士でグループに（3～4人）
- ③ 11月：プロジェクト計画づくり・計画発表  
FOXサポーターとのマッチング、本格始動（11月下旬）
- ④ 1月：中間発表1回目（進捗共有）、対話会の実施
- ⑤ 2月：中間発表2回目、本発表17日(土)

## <テーマ例>

- ・ろう者への負のイメージを無くす
- ・身体障害者
- ・ADHDと共に生きる
- ・多様な社会への第一歩
- ・ジェンダーバイアス
- ・教育現場における学習障害の子どもへの合理的配慮の推進

## 2. FOXプロジェクトについて ～大きな特色～

# Fox Project 特色

① 同じテーマ・問いをもつ生徒同士でグループに

⇒ 与えられた課題ではなく、自分(たち)で問い直すこと

② 2023 FOXサポーター (28名) による伴走

⇒ メンター・コーチング的な存在

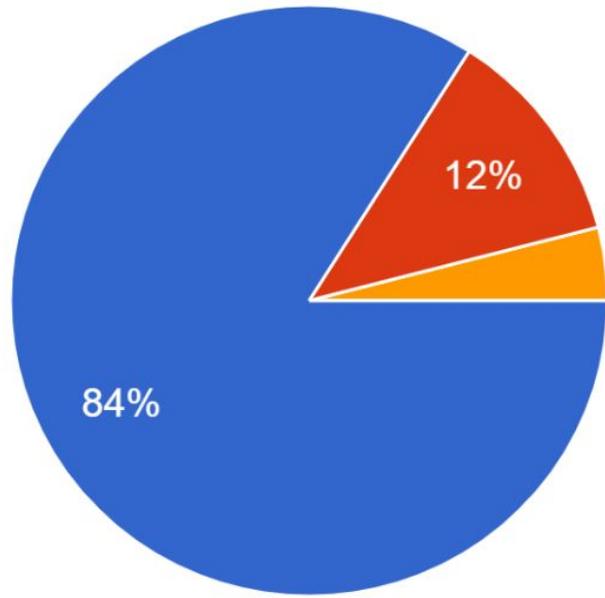
⇒ キャリア教育的側面

⇒ 「社会」とつながる

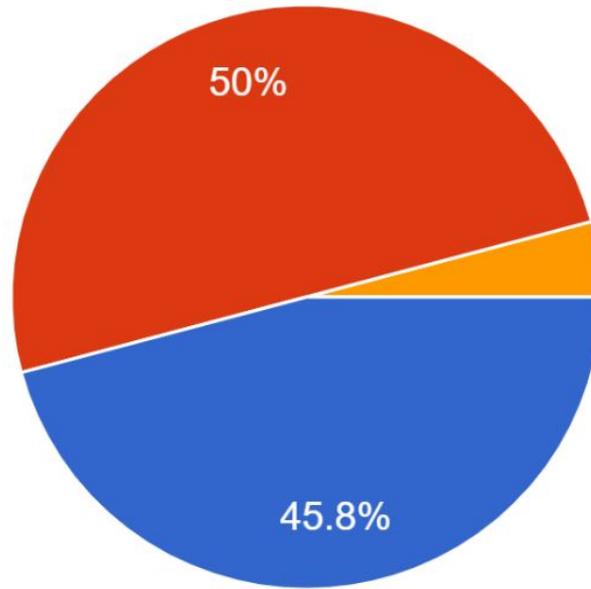
<共通して> モチベーションの維持

## 2. 取り組み報告

# 今後の自分にとっての学びになりましたか？



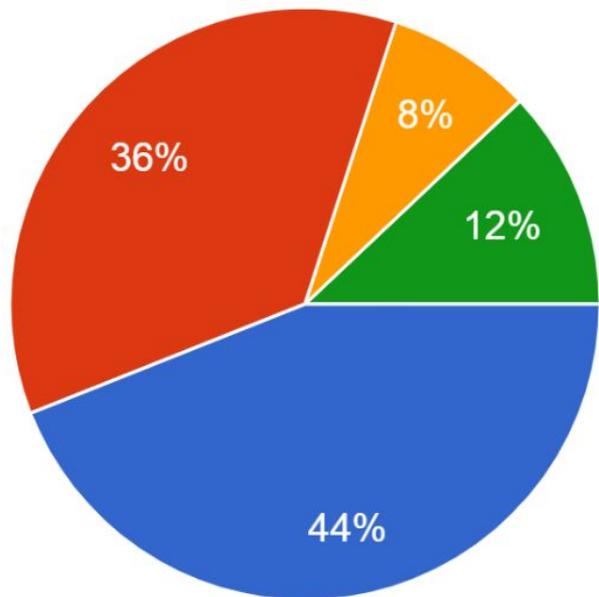
2022年度



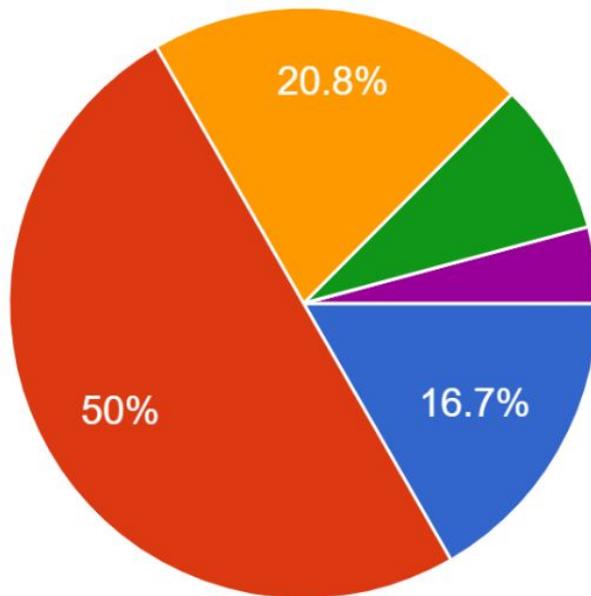
2023年度

- 大いになった!
- 多少はなった
- どちらともいえない
- あまりならなかった
- 全くならなかった...

# サポーターの存在



2022年度



2023年度

- とても有意義だった！
- 有意義だった
- どちらともいえない
- あまり有意義ではなかった
- 全く有意義ではなかった...

## 4. 心がけているポイント

# 教員の心がけ

- 「失敗」は想定内  
それは、「深み」へのスタート地点と思えるか  
(=教員側はヒヤヒヤ、モヤモヤ)
- 信じて「待つ」こと
- 探究のゴール設定 (思い・信念) を強く持つ
- モチベーションの維持  
(時には“サボる”ことも許容範囲)
- とともに、楽しむ